



瀧本 孝一 議員
(遠野令和会)
一問一答方式

問……………自治体運営上で非常に重要な財政健全化に向けた具体的な取り組みは。

答(市長)……………常に考え目指していないかなければならない。健全じゃないとか、健全であるとかという議論をするよりも、どうやってそれをやっていくかってことを、そのためにみんなが血を流さなければならぬ。

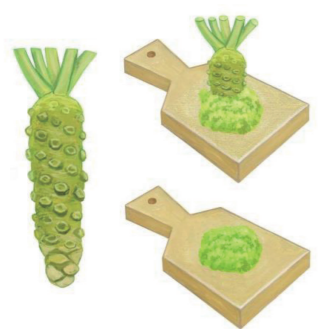
答(市長)……………まず農業起業塾。ワサビを生産する農地を増やす。ホップも昨年の28トンから45トン60トンにしていかなければならない。

問……………農林畜産業施策に係る、市長の特徴的な取り組みの具体策は。

答(市長)……………歳入確保策の、使用料・手数料の見直しとふるさと納税の取り組みは。

市長 考え方を分かってもらうのは難しいんだな

施政方針演述の具体的な中身を伺う



ワサビ

本市の二つの特産品が生産増大につながることを望みたい



ホップ

学校図書館法改正による学校司書の実態は

教育長 配置基準に該当せず、司書教諭で対応

問……………市総合教育会議の中

答(教育長)……………司書教諭は学校図書館の運営と指導を司る。学校司書は学校図書館の整備や案内などを担当する。現在市内小・中学校に17名の司書教諭が配置されている。

問……………司書教諭と学校司書の違いはどこにあるのか。

答(教育長)……………改正から7年が経過しているが、学校司書の配置基準は当市にはない。

問……………平成27年4月から一部改正された学校図書館法の学校司書の法制化の認識と、これまでの当市の対応経過は。

答(教育長)……………で、学校司書に関する議題や話題等があったのか。

答(教育長)……………配置基準にかなう学校がなかったため、特段話題になったことはない。

問……………当市の学校司書の実態と重要性の認識は。

答(教育長)……………読書活動の重要性は十分認識をしている。学校司書は配置していないが、読書活動を充実させることが大切である。



達曽部小学校図書室



菊池 巳喜男 議員
(遠野令和会)
一問一答方式

ゴミ処理場とゴミ収集の方向性を示せ

市長 今後、国の動きを踏まえ分別収集を考えていく

問……………清養園グリーンセンター全体の運営方向が見えて来ない、市長の見解は。

問……………SDGsの体系から見て、リサイクルゴミや燃えるゴミの今後の方向性は。

答(市長)……………非常に検討が難しい、ハザードマップでは浸水予測地域になっている。その中で、ゴミの収集運搬施設として、旧焼却炉の解体もあるので検討していかなければならない。

答(市長)……………分別収集しながら、燃えるゴミや一部プラスチックゴミは中部グリーンセンターで焼却しエネルギー発電にも活用している。国の動きを踏まえて、分別収集処理を考えていく。

安全・安心な住民生活の確保、新エネルギーの導入策は

市長 明るく元気に希望ある町にするように一緒に努力していきたい

問……………東日本大震災で、エネルギーの重要性を痛感した。市民の安心安全で快適に暮らせる環境は欠かせないものであるが、エネルギーの供給源の立場で市長の考えは。

答(市長)……………災害時の消防車両や緊急車両等に関して災害協定を締結し、燃料の確保を行っている。さらに、電力会社とも必要な電力を確保するような仕組みに繋がってきたい。遠野市としても、バイオマスなど再生エネルギーに力を入れていく。市内で発生する各種ゴミについても、資源化にできるものは調査していきたい。

問……………遠野市新エネルギービジョンが策定され、多種のエネルギー導入により自立分散型エネルギー供給体制により安全・安心な住民生活

の確保、新エネルギーの導入により地域経済循環の実現により産業振興も推進していくこととしている。その中、提案型の質問として、燃えるゴミや廃プラ、更には廃棄物まで一括して処理しながら、エネルギーに変換するシステムがあると聞いているが、市長の見解は。

答(市長)……………ゴミを資源化として、さまざま市内で検討をおこない、ネットワーク、コラボレーション、コーディネートを念頭に置きながら先進地研修も考え、皆さんと一緒に、明るく元気に希望ある町にするよう努力していきたい。



廃止された清養園保養センター

